

第1回 Aging, Brain, Cognition, Decision-making, & Emotion セミナー

「心理学は製品開発の実践においてどう役立つのか」

日時

2019年

12月6日

金

13:20-14:50

人間発達環境学研究科 F棟 263

参加申し込みは必要ありません。大学生・大学院生どなたでも参加できますが、満席になった場合は「加齢の認知心理学」を受講している学生を優先させていただきますのでご了承ください。



講師: 小俣 貴宣, Ph.D.

ソニー株式会社 R&Dセンター先端研究部

文部科学省科学技術動向研究センター専門調査員

2017年 iF Design Award 受賞

概要

企業の製品開発の目的の1つは顧客の心を理解し、満たすことだと言えます。そして心理学は「心とは何かを問い、心のはたらきを明らかにする学問領域」です。従って心理学は、何かしらの形で企業の製品開発に役立つはずですが、しかしながら、企業の製品開発における心理学の有効性は思いのほか知られていません。

本講義では心理学の知見やアプローチが製品やサービスの企画・開発においてどのように役立つのか、簡単な実習や様々な事例を通じてご紹介させていただきます。その後、製品やサービスの開発の実践に対して心理学の高度な専門性を習得することの意義や、そうした知見を応用する上で大切な能力や心がけについて、発表者の実務経験を踏まえ、解説させていただきます。最後に心理学を学んでいる皆さまが将来社会で活躍する上で、発表者が大事だと思うことをお話させていただきます。

お問い合わせ：増本康平 (masumoto@people.kobe-u.ac.jp)

本セミナーは日本学術振興会科学研究費補助金（挑戦的研究：萌芽）「高齢者の自律支援に最適化された情報提示方法の確立」の助成を受け実施されます。